

## 解答

一

- 問一 ① 画期 ② 領分 ③ 厳格 ④ 報復 ⑤ 機能
- 問二 a カ b イ c オ d ウ
- 問三 「あきらめること」「捨てること」は、自分の持っているものにはばられず、別のものを選んでよいという本当の自由を意味する。この自由をもつことで、自らも変容して他者との相互理解が進むと考えているから。
- 問四 「わたし的には」という言葉には、「わたしはわたし」「あなたはあなた」というように、相手と一線を引いて距離を置き、わかり合えないままになってしまふ恐れがあり、好ましくないと思っているから。
- 問五 自分たちは間違っていないのに苦しい状況に置かれている弱者にとって、その原因は世界全体のシステムにある。それに対して筆者は、たとえ生まれればかりの赤ちゃんのような責任能力の無いものでも敵として見なされることを例にあげて、彼らの論理の理不尽さを印象つけている。

二

- 問一 ① 樹下 ② 朗らかな ③ 成績 ④ 裏 ⑤ 教養
- 問二 ア 尾 イ 耳
- 問三 a カ b エ c ウ d ア
- 問四 自分のピッチングの調子がいいときは、自分とマウンドがつながっているように感じられる、というマウンドとの一体感を言葉で表現することで確認できたため、気持ちが高ぶり興奮している。
- 問五 「調子のいいときは、自分の足でマウンドに立っていることが、わかる。自分とマウンドがつながっているんだなあと感じる。しっかり、下から支えてもらっていると感じられる。」という恭介のレポートは、マウンドの捉え方が鋭い感性で描かれていた。これは予想以上に素晴らしいできばえであり、詩人のような感性でピッチャーとしての今後の活躍も大いに期待できると感じ、はげまして応援したいと思ったのだ。